

# ルルドの丘

2020  
7月  
No.47



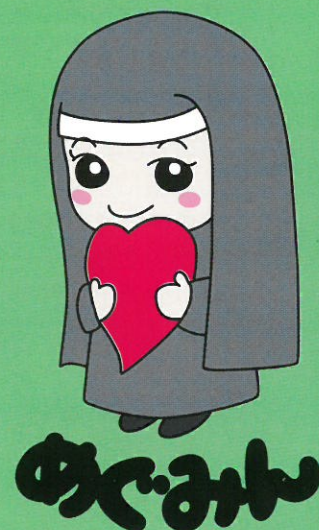
社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな





## ▶きらりん★

2020年4月16日、新型コロナウイルス感染の流行拡大により、全国に緊急事態宣言が発令されました。施設の入所利用者さんも集団や外出活動の自粛、家族との面会も中止となり、不安や寂しい思いをして過ごしていたと思います。利用者さんやご家族からも、「会いたい、元気なのか様子が知りたい。」と、ご要望やお問い合わせを頂き、病棟療育部・看護部の職員から「電話」だけでなく、通信アプリの活用や面会の方法についての提案があり、導入しました。その取り組み経過をご紹介します。

### ビデオ通話 2020年4月22日～ 病棟ホール

療育部生活福祉課では、入所利用者さんもお互いのことを心配していると考え、通信アプリLINEのビデオ通話を利用したオンライン面会サービスを開始しました。日時は毎週水曜日10時50分～11時30分（1家族5分）の予約制です。「画面を通してお互いの顔や表情が見える」と好評です。

活動の様子は読売新聞（5/26朝刊）にも掲載されました。



### 窓越し面会 2020年5月12日～ グリーンベルト

保護者や成年後見人様から、面会の要望を頂き、4月より毎週金曜日に行っているコロナ対策委員会の中で、面会についても話し合いを行ってきました。対応を協議した結果、窓越し面会を行うことにしました。日時は入浴日（月・金）を除く午前10時～11時30分と午後3時～4時30分、1家族5～10分です。面会場所は各病棟のグリーンベルト（テラス）で、お互いの声が聞き取れるように携帯電話を使っています。



### 条件付き面会 2020年6月2日～ 面会「談話室」

2020年5月14日に緊急事態宣言は解除されましたが、コロナ対策委員会の協議により、5月一杯はビデオ通話や窓越し面会で経過を見守り、6月から条件付きでの面会を再開する方針が出されました。面会は、入浴日（月・金）と土日を除く平日の火・水・木曜日、時間は午後2時30分～4時05分、場所は「面会・談話室」（1家族：15分程）で行っています。

\*前日月曜日までに希望日時を申込み、1日5家族の面会を調整しています。



# 巻頭言

事務部長 森 幸一

新型コロナウイルスが世界中で大流行しています。この「ルルドの丘」が出版される時点でも状況は変わっていないのではないのでしょうか。

世界で大流行して、世界中の多くの人々が亡くなった経験は以前にもありませんでした。それは、一九一八年（大正七年）に流行が始まったスペイン風邪です。スペイン風邪が日本に入ってきたのは、大正七年の八月下旬頃でした。スペイン風邪は大正七年の八月下旬から流行が始まり、その年の十一月に大流行しました。この流行は翌大正八年の七月で、いったん収まりましたが、残念ながら、一九二〇年（大正九年）まで繰り返すことになりました。この「ルルドの丘」を読んでいただいている方が百歳であれば、そのころ生まれただけであり、もし、七十代の方であれば、ご両親からその話を直接聞いたことがあるかもしれません。

今回のコロナウイルスも、それに匹敵するか、もしくはそれ以上の最大の危機に直面しているのかもしれない。私たちの施設でも、新型コロナウイルスに、細心の注意をしながら対処しています。しかし、どこからウイルス

が侵入してくるかわかりません。今回の新型コロナウイルスの厄介なところは、インフルエンザのような簡易な検査キットがないということ、ワクチンの開発にまだ時間がかかりそうだということです。それでも私たちは、利用者さんを守るために、みんなで力を合わせています。医師や、看護部の職員、そして、療育部の保育士や介護福祉士などの職員は入所及び外来利用者さんに、直に接して支援をしています。さらに薬剤師や臨床検査技師、放射線技師や訓練士などの診療支援部の職員も、利用者さんに直接または間接的に関わっています。また、事務部の中でも、栄養課の職員は利用者さんの食事のお世話をしています。そして、

用務、洗濯、営繕の職員も施設の環境整備のために、施設全体のお世話をしています。安全で安心した生活のためには、これらすべての職員がなくてはならない人達なのです。

私たちの施設は基本理念として、「カトリックの愛と奉仕の精神で、一人ひとりのいのちを大切に、すべての人の幸福を願う」「キリストの母マリアの心で、心身において助けを必要

としている人々のかたわらに寄り添う」を掲げています。順風満帆の時には奮ることなく、逆境の時に卑屈になることなく私たちに必要としている人々の傍らに寄り添う姿勢こそ求められていると思うのです。この基本理念は、「母親のおもい」で例えるとわかりやすいと思います。

「母親」というと、私には好きな歌詞があります。といっても、歌詞を知っているだけで、曲を聴いたことはないのですが、樋口了一の「手紙（親愛なる子どもたちへ）」の歌詞です。原作詩はポルトガル語らしいのですが、その一節にこんな歌詞があります。「いづれ歯も弱り、飲み込むことさえ出来なくなるかもしれない。足も衰えて立ち上ることがすら出来なくなったら、あなたが弱い足で立ち上がろうと私に助けを求めたように、よろめく私にどうかあなたの手を握らせてほしい」

さて、今回の新型コロナウイルスの蔓延で、改めて認識させられたことがあります。それは、世界が深くつながっているということです。

G A F A と呼ばれるIT企業に代表

されるように、私たちの生活は、知らず知らず情報戦略の中に組み込まれています。そのスピードはネットの広がり、その速さと同じスピードで速くなっています。アメリカのトランプ大統領の「アメリカ・ファースト」に代表されるように、自分の国のみが良ければいいという考え方があります。しかし、このようなスタンスから脱して、世界の国々が連携して英知を集めるべきです。「このウイルスをどのように克服するか」が今日の世界のテーマであると同様に、「職員全員の一一致協力の下で、施設をどう守っていくか」が、今日の私たちの施設の最大のテーマだと考えています。



▼各部署の声です。今年度の目標は「一心」です。

## ご挨拶



### 新年度に向けて新たな一歩

療育部生活福祉課課長 林 直見

新年度を迎えましたが、不安な気持ちでいるのは私だけではないと思います。

全世界で新型コロナウイルス感染症により、出口のみえない暗いトンネル中に置かれている状態です。東京オリンピック・パラリンピックの開催も来年七月以降に延期となりました。当施設でも利用者・保護者に感染拡大防止のため、いろいろな制限が掛かり、ご利用の面で大変ご迷惑をおかけしています。一刻も早く安全・安心な生活が過ごせるように感染症の終息を願うばかりです。

さて、恵の聖母の家に就職して三十四年目に入ろうとしています。すっかり口づる古い古狸になってしまいました。恵の聖母の家の歴史を振り返ると、現在のひかりの大地(当時の二病棟)が増設された時からの勤務でした。福祉課が中心となり、いろんなイベントを計画・実施していました。各職種が一丸となり利用者さんと一緒に楽しい生活を日々過ごしていました。あの頃は利用者・職員・保護者も若くて元気いっぱいでした。それから何十年の歳月が過ぎ、社会情勢の中、医療・福祉の法律も変わり「措置から契約」と、恵の聖母の家も少しずつ変わってきました。利用者も児から者に成長され個人を尊重し、年齢と状態により一人ひとりに生活にも変化が見られてきました。しかし、何年経っても変わらないのは、利用者さんの笑顔・素直な心・輝きです。これからも生活の中で、可能な限り自分で自分のことが決められるように、本人の意思を確認し、

好きなことができることを大切にしながら、生活環境を整えて、支援したいと思っています。

今年度の施設目標の「一心」を念頭に置き、生活福祉課(入所部門)・児童発達支援センターめぐみ(地域生活部門)・相談事業所(こころ(相談支援部門)の職員一同、心を一つにして支援していきたいと思っています。今年度の各部署の目標はご覧の通りです。

#### 生活福祉課

○利用者の年齢、状態に応じた日中活動を行い、各専門職がお互いに尊重し、支え合って安全で生き生きとした生活が送れるように支援する。

#### 児童発達支援センターめぐみ

○在宅生活を支え、利用児者が安心して通える体制づくりを目指す。

#### 相談事業所こころ

○権利擁護と意思決定支援

○関係機関との連携強化

各部署が目標達成できるように、こころ一つになり協力体制を整えていきたいと思っています。

今後も入所児者・在宅の方々に寄り添いながら、その人らしく生活できるように支援を目指していこうと思います。

最近「自分のことは話すな」という本を読みました。その中で、「コミュニケーションの基本的なこと」、「挨拶やお礼・相手を尊敬し感謝すること」、「雑談よりも反応力を磨く」ということが書かれていました。なるほど…。

## 生活福祉課



### 稼

サービス管理責任者 松山 修一

四月からサービス管理責任者の業務に就くことになりました。病棟の業務は約十年ぶりになると思います。

この約十年の間、福祉制度は大きく変わりました。当施設では、児童発達支援センターめぐみが開設し、事業や運営というものを感ずる時期でもありました。

さて、皆さんは、春山満さんという方をご存知でしょうか。彼は二十四歳の時に進行性筋ジストロフィーを発症し、首から下の運動機能を全て失いました。初めてご本人用の車椅子作成に立ち会った時、業者の「こんなものかな」といった横柄な態度に、「これから自分の体の一部となる車椅子を作るのだからもっと真剣に考えて欲しい」と言って怒った」というエピソードは、テレビでも著書でも紹介されました。

そうした自らの体験もあって、介護や医療に疑問を持った彼は、一九八八年に福祉のデパート「ハンディ・コープ」を開業します。

今から十五年ほど前、別府杉乃井ホテルで春山満さんの〈第三回グッドタイムフォーラム「介護の誤解」と家族の絆〉という特別講演会が開かれました。彼の「三世代型リゾート(体が不自由になっても息子夫婦や孫たちと安心して出かけて楽しめる。人生の最期まで自分が主役として自己選択でき、看取りまで完結できる街)」という考えをとり入れた記念講演でした。講演では、質問の時間があつたので、私は「これ

### ぐ

からの福祉に大事なことは何か」と春山さんに聞いてみました。彼は「情熱とそろばん」と即答しました。「これからは、情熱だけでなく、プロの意識、そして経営力」が大事と教えて下さいました。

あれから十五年経ちました。今、障害の分野も専門職が増え、加算や報酬が付くようになりました。配置加算等、福祉職も一人ひとりが専門家として「稼げる時代」になったと感じています。事業展開では、投げ銭アプリやクラウドファンディングもありますね。ただ、「稼ぐ」と言っても、報酬以外に、例えば地域で勉強会を開けば事業所の「信頼」や「人気」につながる、そういう「稼ぐ」もあるでしょう。

当施設の職員一人ひとりは、いろんな力を持っていると感じています。それが入所利用者やご家族の「信頼」をより稼げるように、個別支援計画書を策定できればと考えています。よろしくお願いします。

僕にできないこと。



僕にしかできないこと。



## 管理課



### 恵アカデミーの 発表を終えて

用務一同

皆さん、こんにちは。用務です。今回は、昨年度に開かれた恵アカデミーで発表したことを書きたいと思います。これまで恵アカデミーには参加してはいましたが、発表はしたことがありませんでした。また、発表ができるとは思っていませんでした。それがどうして発表しようと思ったかという、一昨年度のアカデミーの時に、施設長から「今度は宮繕や用務も発表したらどうですか？」と声をかけていただいたからです。「えっ、私たちが？」と驚き、「できるかしら」「大丈夫かな」と思い、とても不安な気持ちでした。でも皆さんに私たちの仕事を理解してもらおうのには、「これは良いチャンス!!」と思い、用務皆でアカデミーにチャレンジすることになりました。

さて、発表することになったものの、どのように準備して行ったらよいか、とても悩みました。皆で話し合っ、発表は一人ひとりが行う形にしました。内容は業務内容と年間に行った取り組みにしました。

「二〇一九年度の目標」は「きめ細やかな清掃」「作業の効率化」でした。きめ細やかな清掃では、病棟の拭き掃除の道具を糸モップからタオル雑巾にかえてみました。すると狭い隙間にはタオル雑巾の方がよく届いて拭けることがわかりました。また、タオル雑巾の交換も糸モップよりも手軽にできて、病棟ごとにタオルの色を考えると衛生面の配慮にもつながりました。手すりやドアノブの掃除では軍手を雑巾のよ

うに使ってみました。こちらも隅々まで綺麗に掃除することができました。

作業の効率化では、収納場所の容器に中身がわかるカードをつけることにしました。用務の業務は病棟だけではありません。発達外来や屋外の掃除もあります。広範囲になるので、お互いの連絡が大事になります。月間予定表や作業済み表を工夫し、口頭だけでなく、記載して伝えることで、作業効率を上げることができました。目標を達成したと感じています。また、年間の取り組みでは、ゴーヤを栽培しました。以前、ルルドの丘で紹介しましたが、夏には立派なゴーヤがたくさんできました。ゴーヤは職員や面会に来られたご家族等にとって帰っていただきました。その際、少しの寄附をお願いしたところ、今年度も栽培ができるだけの費用が集まりました。昨年のゴーヤの本数も数えていたので、今年の違いを観察していくのも楽しみです。

今年度も一人ひとりが知恵を出し合っ、助け合い、そして新しいこと、自分たちができることに取り組んでいきたいと思っています。恵アカデミーは、自分たちの部署を理解してもらう良い機会になったと思います。今年度もよろしくお願ひします。



## 地域連携室



### 「いっしょに」

児童指導員 丸山 久幸

四月から、療育部生活福祉課より看護部の地域連携室へ異動した丸山久幸です。看護部に配属になりましたが、看護師の資格はなく児童指導員や介護福祉士・介護支援専門員の福祉職です。少し職歴を紹介しますと、一九八八年（二十歳）、恵の聖母の家に就職。児童指導員として、利用者さんの生活や個別療育など活動支援を二十四年間勤めました。二〇〇〇年に介護福祉士と介護支援専門員の資格を取得し、二〇一二年四月から児童発達支援センター（在宅通所部門）で勤務しました。

生活介護や放課後等デイ、児童発達支援事業に携わり、二〇一七年四月より、入所利用者さんの個別支援（サービスマン管理責任者）を担当してきました。地域連携室の職務は、初めてでも分かりません。前任の松山さんから「短期入所」の受付や相談、日程の調整・連絡確認の方法など引き継ぎ、業務を学んでいきたいと思っています。何分、不慣れで予約の相談や日程調整などのご相談やご要望にも、十分に対応できず、失礼もあるかと思いますが、五十歳を過ぎ「新たな仕事」に謙虚に、コツコツ取り組もうと思っています。短期入所をご利用の際、電話の声が違う？新しい担当は誰？と思われるかも知れませんが、少しずつ、電話でのやり取りや短期入所の際、ご挨拶し顔を知って頂けるようにしたいと思います。

今後、新たな出会い・地域の関係者の方との繋がりを楽しみに、短期入所のこと

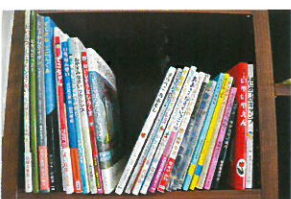
もちろん、地域医療や福祉の関係機関の中で、当施設が地域でどんな役割を担い、期待されているかを改めて学びなおしたいと思います。

これから、地域連携室の職務を、藤井総師長・釘宮師長、工藤主任の指導のもとで、頑張ります。よろしくお願ひします。

### お知らせ

#### 本の寄贈

ヨセフおじさんから、十二月に絵本やお話の本五十冊が届きました。散歩の時やお部屋で利用者さんとのふれあいに活用しています。



## 2020年度児童発達支援センターめぐみ活動予定

月	内 容	
4	春を感じよう！ 散歩・戸外活動	お花見・花、野菜栽培 潔き聖母の家
	母の日の準備	手作りマスク制作活動
	母の日	手作りマスク贈呈
5	戸外活動	ゴルフ等
	散策	藤のお花見 ルルドの丘
	父の日の準備	制作活動 <sup>㊦</sup>
6	父の日	贈呈 <sup>㊦</sup>
	スポーツレク	ターゲットボール他
	車椅子ダンス	準備中
	夏を感じよう！	ミュージックケア・アロマ
7	七夕	飾り制作
	感覚遊び	太鼓相撲夏場所等
	リフレッシュ活動	映画鑑賞・スヌーズレン等
	人権月間	ビデオ・展示物等
8	ボランティア公演 (ご家族と)	準備中
	活動	太鼓相撲秋場所等
	スポーツレク	
	行事準備 感覚遊び	家族の日ファミリーフェス ティバル (12日)
9	秋を感じよう！ 散歩	ミュージックケア・アロマ・ スヌーズレン他 ハロウィンパーティ
	車椅子ダンス	準備中
	勤労感謝に向けて	花壇 (花・野菜栽培)
10	クリスマス準備	DVD鑑賞等
	冬を感じよう！	
11	施設行事参加	クリスマスの集い (12日)
12	お正月準備	餅つき 年賀状書き
	2021年 ※支援学校等実習生受入れ月 (6月、11月、1月)	
1	お正月行事・太鼓相撲初場所・節分準備	
2	節分行事・雛祭準備・レクリエーション	
3	雛祭行事・レクリエーション	

※新型コロナウイルス感染症対策のため、予定変更となる場合があります。

### センターめぐみの活動紹介

4月23日 藤の花の鑑賞、5月7日 バラの花の鑑賞へドライブ散策をしました。

施設内にあるルルドの丘へ行き、天気もよく、さわやかな風も吹き参加した利用者さんもリフレッシュできました。



2020年5月10日は「母の日」です。

センターでは、母の日に向けて「感謝の気持ちを込めて、プレゼント作り」に取り組みました。

今年は「新型コロナウイルスの流行で、マスク不足。」

いつも、家族の健康を心配してくれるお母さんへ「コロナに負けないで！」という気持ちを込めて、メッセージカードと手作りマスクを利用者さんと作りました。



### 外出活動お出かけサポート 2020年3月～4月

今年度から、外出活動お出かけサポートと名称を変え福祉タクシーを利用した外出活動になりました。

活動予定の入所利用者さんも車に乗って外出することを楽しみにしていました。しかし、新型コロナウイルスの流行と全国緊急事態宣言が発令され、感染予防として3密（密集・密閉・密接）を避けることになり、外出活動は中止になりました。

外出活動担当者も入所利用者さんの気持ちを大事に考え、少しでも外出した気分になってもらえるように「屋外のレクリエーション活動」を計画しました。内容は、「宝探し」や「オリエンテーリング」、「こいのぼりに触れよう！」等です。敷地内でしたが周囲の草花（山桜や花壇のチューリップ）を眺めたり、支援者と外出の気分を味わいました。



### 園芸体験「しいたけ狩り」 3月11日

ひかりの大地では、ネイチャークラブ（園芸）活動を行っています。今回は、しいたけの駒打ちをした原木を頂き、入所利用者さんは成長したしいたけを収穫する「しいたけ狩り」を体験することができました。日頃食べているしいたけの様子や感触、香りなど利用者さんがそれぞれの表情や反応で楽しみました。



### 施設内ドライブ 4月8日

隣接する姉妹施設潔き聖母の家駐車場やルルドの丘へのドライブをひかりの大地の利用者さんが楽しみました。



### 手作りのお花見会 5月7日

のぞみの丘の入所利用者が園庭（テラス）でお花見会を行いました。緊急事態宣言で、外出や面会が制限される中、入所利用者さんも気分転換や楽しいリフレッシュしたい気持ちを考え、療育部の保育士や介護福祉士がお花見会を企画しました。壁画制作で作った桜の木やテラスのプランター栽培で咲いたチューリップの花等を集めて、お花見会を開きました。春の歌をうたったり、壁画の桜の木をバックに記念撮影等、室内から一歩外出し、春を満喫する活動を楽しみました。



## 永年勤続表彰 3月2日 病棟ホール

当施設に永年に亘って職務に専念し、福祉向上に大きく貢献した職員を表彰しました。今年は、30年勤続が3名、20年勤続1名、10年勤続の4名が表彰されました。これからもよろしく願います。

## 恵アカデミー賞 3月14日 2階会議室

今年も恵アカデミーを開きました。各部署や委員会などの取組や活動・日頃より地道に仕事をして、施設を支えて下さっている方を紹介し施設全体を元気にしていく場として、開催しています。今回は「事務部 営繕の紹介」「用務：職場改善の取組み紹介」「洗濯場、職場紹介」「フェイスブックの活動報告（地域連携室）」「訓練課へようこそ」、以上5つの発表がありました。

各部署（日頃、目にすることがない営繕や用務、洗濯場の取り組みや工夫など）業務を知る関心が深まる時間となりました。



## 2020年3月14日 動物ふれあい活動終了

動物ふれあい活動は、セラピストの資格を取得した当施設の看護師が、2010年5月から2か月に1回（年5回）のペースで活動を行ってきた活動です。開始当時は参加対象者も4名でしたが、年々希望者も増えて5人による集団活動が2組、そして個別活動が4名と増えていきました。

身近な動物と触れる機会が少ない入所利用者さんにとって、セラピー犬の行動や表情、感触は大きな刺激や癒しになりました。ふれあいが楽しみに繋がったと思います。場合によってはご家族も参加し、日頃見られないご本人の表情や反応が見られて喜ばれていました。

10年間、犬とのふれあう機会を提供していただき、ありがとうございました。楽しい交流になりました。



## 定年退職者功労表彰式 3月31日 病棟ホール

令和元年度をもって定年を迎えた職員4名に感謝を込めて、施設から感謝状と花束が贈られました。佐藤施設長からは、永年にわたる仕事への功績と支えてくれた家族への感謝、労いの言葉が贈られました。職員4名は再雇用として、今後も業務につきます。これからも、よろしく願いいたします。

## 全体朝礼：新職員紹介・辞令交付 4月7日 病棟ホール

令和2年度、新人職員の紹介と新任主任・師長の辞令交付がおこなわれました。

佐藤施設長から「これからコロナとの戦いも長い道のりになると思う」「利用者さんに不安を持たせないで済むように、皆さんが、寄り添える存在になってほしい」と挨拶がありました。

\*詳細は、11頁びかびか（新人・人事紹介）をご覧ください。



## 2020年度恵の聖母の家活動予定

月	日	曜日	内 容
3			外出活動お出かけサポート（吉四六ランド）
4		上旬	お花見（潔き聖母の家）
	8	水	外出活動お出かけサポート（吉四六ランド）
	12	日	復活祭ごミサ（地域交流ホーム）
	15	水	外出活動お出かけサポート（吉四六ランド）
	22	水	外出活動お出かけサポート（吉四六ランド）
5	30	木	外出活動お出かけサポート（吉四六ランド）
	7	木	外出活動お出かけサポート（臼杵石仏）
	10	日	ルルド祭
6	13	水	外出活動お出かけサポート（臼杵石仏）
	20	水	外出活動お出かけサポート（臼杵石仏）
	27	水	外出活動お出かけサポート（臼杵石仏）
7	17	水	外出活動お出かけサポート（臼杵マルシヨク）
	20	土	ふれあい運動会
8	24	水	外出活動お出かけサポート（臼杵マルシヨク）
	8	水	外出活動お出かけサポート（旧：パークプレイス大分）
9	検討中	土	ボランティア公演
	検討中		夏の集い
10	検討中		臼杵支援学校「夏休み交流会」
	15	土	聖母被昇天祭・故利用者追悼ごミサ
11	12	土	家族の日ファミリーフェスティバル
	16	水	外出活動お出かけサポート（旧：パークプレイス大分）
	23	水	外出活動お出かけサポート（旧：パークプレイス大分）
12	4	日	ボランティア公演（榎の実少年少女合唱団）
	7	水	外出活動お出かけサポート（旧：パークプレイス大分）
2021年	14	水	外出活動お出かけサポート（旧：パークプレイス大分）
	12	土	クリスマスの集い
	17	木	餅つき
2021年	25	金	クリスマス・ミサ サンタプレゼント・茶話会
	1		お正月行事
2		節分行事	
3		雛祭り行事	

\*新型コロナウイルス感染症対策のため、予定変更となる場合があります。

## 活動いろいろ

### 2020年5月13日 音楽療法開始

大分県も緊急事態宣言が解除され、少人数での活動を再開しました。

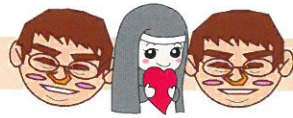
あゆみの広場では、ご家族からも要望のあった「音楽療法」を当施設のセラピスト（保育士）が開きました。密接にならないソーシャルディスタンスを保つため、参加者は3名とし、セラピストの声やリズムや楽器の音、振動を肌で感じながら活動の雰囲気を楽しみました。



### 2020年5月18日

あゆみの広場では、外出活動に参加予定だった入所利用者さんを対象に園庭で散策活動をしました。春の季節を感じる花や、プランター栽培で実ったイチゴでイチゴ狩り（香り）を体験しました。利用者にとっては、貴重な外出の機会であり、自然にふれて良い気分転換になりました。





▼各部署の声です。今年度の目標は「一心」です。

## 児童発達支援センターめぐみ

### 最近のどきどき

児童発達管理責任者 竹尾 昭彦

◆十二月十四日(土) クリスマスの集いが地域交流ホームで行われました。生活介護利用者、放課後等デイサービス利用児の参加があり、臼杵市ハーモニカクラブ、臼杵ウインドアンサンブルの皆さまの素敵な歌声や演奏をはじめ、訓練士によるキレツキレッツのダンス、パフォーマンス、そして聖劇では静寂な雰囲気の中、クリスマスをお祝いすることができました。

会の中で、放課後等デイサービス利用者二名が、巻き物を支援者と一緒に引くとお礼の言葉が文字として現れボランティアの方々へ感謝の思いを伝えることができました。



◆「NHK歳末たすけあい募金」さまからの助成金により、今年はビデオカメラを購入させて頂きました。丁度、ビデオカメラが老朽化し買い替えの時期でもあったため、本当にありがたかったです。活用方法の一環として、療育活動時の様子を録画し、ご家族との面談時に役立たせていた

ことを考えております。「NHK歳末たすけあい募金」さまいつもありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

◆一月六日(月) 令和最初の新春を迎え、正月遊びで「福笑い」を行いました。スタッフのみ目隠しをして、利用者を確認をとりながら挑戦したり、利用者、スタッフ両者ともに目隠しをして挑むなど笑いの絶えない時間となり、最後に全員で出来上がった福笑いと一緒に記念撮影をして初笑いを楽しみました。



◆一月十日(金) 利用児者の最近の様子や好きなことを、連絡帳等からヒントを得て初夢や干支をイメージしながら今年の抱負を一人ひとり考え書初めを行いました。二〇二〇年も良い年になりますように!!

◆一月二十七日〜二十九日(竹田支援学校二年生一名、一月二十七日〜二月六日(臼杵支援学校二年生一名)の生徒が来られて、生活介護の現場体験実習が行われました。初めての場所のためか、普段の学校生活とは違う環境の変化を感じ、少し緊張気味な表情をされている方、担任の先生が弾くオカリナの曲にリラックスした様子で過ごされる方など、生徒一人ひとりがそれぞれの目標に沿って実習に臨むことができました。

◆二月七日(金) 無病息災を願って節分の豆まきを行いました。鬼に扮したスタッフが二体登場すると一斉に「鬼は外、福は内」の掛け声と一緒に豆の代わりのボールを投げつけて鬼を退治しました。最後に全員で鬼と一緒に記念撮影をして節分行事を楽しみました。



◆三月十八日(水) 作業療法士による感覚刺激を楽しむことを目的に今回は、スライム作りを行いました。材料として、洗濯のり、食紅、ホウ砂を準備し、ポウルの中にそれぞれを入れ混ぜていくと青、黄色のスライムができあがりました。視覚で色を楽しむ方、スライムの感触に触れ楽しむ方など、それぞれが感覚刺激を楽しむことができました。



## 看護課

### 半世紀を生きて

看護師 児玉 清美

令和になり、すっかり年を感じるようになりました。思えば花の二十代、楽しく過ごせばよかったものを、「楽しいこともあれるけど、苦しいこと、嫌なことも多いのに、人はなぜ生きるんだろう」と思い悩んだ時期がありました。そのうち結婚をし、子どもを三人授かり、不器用な私はそんなことを考える余裕もなく、気がつけば半世紀生きていました。最近二十代に思い悩んだ答えがみえてきました。「人はいろいろな経験をし、成長するために生きていくのではないかと」。

昔は人生五十年と言われていました。私はこの年を過ぎたので、後はおまけの人生なのかと思ひ、おまけの人生を楽しんで生きて、寿命が来たとき、「よー頑張ったね」と自分を褒められるように生きていきたいと思うこの頃です。







## 訓練課

### 作業療法士になろうと 思ったきっかけ

作業療法士 金澤 優菜

恵の聖母の家に昨年の四月に就職して、もうすぐ一年が経とうとしています。この一年間はとても短く、気づけばもう三月?となっていました。それだけ、とても濃い時間を過ごしていたんだなーと感じながら、ルルドの丘の原稿を書いています。

私が作業療法士(OT)の資格を取ろうと思ったきっかけは、高校三年生の時に開かれた説明会でした。どんなことをしてリハビリするのか、実際に体験できる時間があり、その中で「物を作りながらリハビリをする」という所にとっても興味を持ち、専門学校に行つてOTになりたい!と思いました。

ところが、いざ学校に入学してみると、勉強の量がとても多く、テストや実習もあり…。まさかこんなに大変だとは思いませんでした。そして専門学校三年生の時に八週間の実習で恵の聖母の家に来させていただき、「発達障害」という分野を深く勉強させていただきました。実習を通して、「この子の将来はどんな風になるのだろうか」「困らないようにするにはどうしたら良いか?」等、子どもの成長をみて、考えながら訓練をすることの大切さ、楽しさを学ばせていただきました。

現在、就職してたくさんのお子さんに会い、色々な経験をさせていっています。保護者の方から「○○できなかったことが保育園でできるようになったんです!」と嬉



4月 桜



5月 ふじの花



6月 てるてる坊主



【訓練室前の壁面装飾】

職員の方皆さん、今後もし指導の程、よろしくお願いします。

しそうにお話してくださったり、今まで運動が苦手だったお子さんが少しずつ上手になつてきたりとうれしい経験や、保護者の方にアドバイスする時に上手く伝えられなかった事などまだまだ勉強しないとイケないと感じることの多い一年間でした。

まだまだ未熟な面も多く、試行錯誤しながら、毎日、子どもたちや利用者の方の訓練を行っています。不安なこともあります。訓練課の諸先輩方にアドバイスをいただきながら子どもたちが成長していく中で困りごとが少しでも無くしていけるように、これからも頑張つていこうと思えます。

## 事務

### 私の日課

総務課事務員 石田 亮一

皆さんの日課はどのようなものがありますか?読書や筋トレなど様々なものがあると思います。私はランニングです。きっかけは健診結果というよくある話です。なるべくお金をかけずに数値を改善するには:まずは歩くことから始めよう!という単純な考えから一念発起したのです。

幸いにも私の住んでいる場所は川沿いで、その土手がちょうどよいランニングコースになっており、環境は恵まれていました。そして、奇跡的に三日坊主で終わることなく、もう六年続いています。それでは、簡単ですが今までの経過を追っていきたいと思います。

通常まずは格好から入るものですが、私の場合のはまったく逆で何の準備もなしに、普通のスニーカーにシャツとジーンズという街に出かける服装で往復二キロを歩いたのが始まりです。これが大体ですが二か月は続いたと思います。さすがにこれでは続かないと思い、ようやく初心者用のランニングシューズと、家にあつた適当なスウェットで見た目のレベルアップ。しかしこの時はまだウォーキングでした。

それからランニングにステップアップするまでそこから一か月ぐらいかかったと思います。ちなみに、時間帯は仕事の日は夜の八時から、休日は夕方の五時からと決まっています。これは当初から変わらません。

そして身体も慣れてきて、さらにレベル

アップ!距離を一気に四キロまで伸ばしたのですが、現実はそのなかに甘くなく、二キロの折り返しの時点で体力が尽き、自分の体力の無さを痛感しました。この状況は結構長く続き、挫折しそうになりましたが、自分を信じた結果、四キロ走破できるようになっていました。ちょうどこの頃がピークで、休む時は台風の時だけ。雨だと傘をさして走っていました。今思えば異常です。

そして月日は流れ、今では六キロを走っています。さすがにピーク時に比べ休む日が多くなっていますが、体力の限界まではこの日課を続けていきたいと思っています。

この記事がきっかけで少しでもランニング仲間が増えれば嬉しいです。



## 保護者の皆様から



### これまで、そしてこれからも

アルトのママより

娘が恵の聖母の家に初めてお世話になったのは、2歳の頃だったと思います。その娘も支援学校を卒業して社会人になりました。今は大分市の生活介護事業所に送迎で通っているところです。環境が新しくなって、給食が美味しいらしく、楽しく通っています。

2歳の頃から支援学校に入学するまでは、日中一時支援事業を利用して、朝9時頃から夕方まで、そして就学後は放課後から夕方までを恵の聖母の家で過ごしました。制度が変わって、児童発達支援センターめぐみができてからは、月曜日から水曜日までをセンターめぐみの放課後等デイサービスを利用して過ごしました。2歳の頃からですから、娘も慣れ親しんだ場所でゆったりと過ごさせていただいて、大変お世話になりました。本当に感謝でいっぱいです。

体調が悪くて、なかなか学校に行けないことも多かったです。大きな体験をお友だちや先生と経験することができました。娘は言葉が話さなかったので、手話の指文字を教えてくださいました。

私も指文字を覚えて、娘と意思疎通ができるようになったのがとても嬉しかったです。恵の聖母の家では、小さい頃から遊びを通して訓練も行っていたので、たくさんの言葉が頭の中にあっただと思います。最初のうちは、「ドラえもん」等、好きな単語

等を何度も何度も繰り返し教えてくれて、「またか！」と笑えるほど、それは嬉しい光景でした。歩き出すのも遅かったですね。訓練でトランポリンを使って身体を強くしたり、それ以外にも三輪車に乗って病棟を回ったりしていくうちに、8歳になった頃、徐々に歩けるようになりました。

まだまだ体調管理に気をつけなければなりませんが、娘なりにマイペースで楽しそうに過ごしているのを見るのが、親として何よりの幸せです。恵の聖母の家の生活介護は週に一度利用する予定なので、これからもよろしくお祈りします。

たくさんの人たちのおかげで、ここまで成長することができました。ありがとうございました。感謝します。



## 支援学校訪問教室



触れ合いがなくてはならないものと考えています。

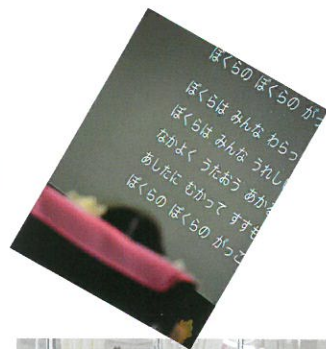
しかし、一番大切なものは命であり、健康でありますので、これからも保護者や「恵の聖母の家」の関係者のみなさまと新型コロナウイルス感染症対策後の新しい生活スタイルに沿った教育を作りたいと考えています。ご支援・ご協力をお願いします。

## 新年度の挨拶

大分県立臼杵支援学校 校長 甲斐 順治

令和2年4月に大分県立臼杵支援学校に赴任した甲斐順治と申します。よろしくお願いいたします。私も教諭時代の1988年から2年間、訪問教育で「恵の聖母の家」に通いましたので、懐かしく思われます。今年度の訪問教育対象者は小学部4年、中学部3年の2学級2名の児童生徒となります。担任は小学部亀井栄子先生、中学部は衛藤理恵子先生です。両先生とも優しく頼りになる先生ですのでよろしくお願いいたします。

昨年度の3月から新型コロナウイルス感染症対策で学校の休校が続く、児童生徒、保護者、関係者の皆さんも先が見通せずに不安であったと思います。iPadを利用したリモート授業を行ったりとできる限りの努力をしていますが、やはり教育には人と人との



# ★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。① お名前 ② 職種 ③ お住まい ④ 趣味 ⑤ 一言

二〇二〇年六月二十一日  
恵の聖母の家めぐみ  
会さまから、床走  
行リフト三台の寄贈  
がありました。  
各棟で、利用者の  
安全安楽な移乗介護  
に活用させて頂きま  
す。ありがとうございます。  
いました。



## 移乗用リフト寄贈

白杵市社会福祉協議会さま・大分県  
用組合さま・株式会社そうりんさま・  
公益財団法人さま・恵の聖母の家めぐ  
み会さま・千木テイ子さま（順不同）  
ありがとうございました。

## ご寄附

## Meguminoseibo



①赤嶺 綾(あかみね あや)さん  
②保育士 ③三重町 ④音楽鑑賞  
⑤頑張ってる、楽しんで仕事をしたいと思います。よろしく  
お願いします。



①日高 美沙紀(ひだか みさき)さん  
②看護師 ③白杵市 ④甘いものが好きで、カフェ  
巡りやドライブに出かけます。  
⑤まだ分からないこともあり、皆さんに教わりながら、頑  
張りたいと思います。

## 人事

▼新規採用  
二〇一九年 十月一日付  
保育士 赤嶺 綾

二〇二〇年 一月十四日付  
看護師 日高美沙紀

▼異動  
二〇二〇年 四月一日付  
あゆみの広場  
看護主任 赤嶺 嘉洋

看護師 佐藤 智子  
(前ひかりの大地看護主任)

看護師 長野 尊治(//)  
(前のぞみの丘看護師)

看護師 藤木 弘美  
(前あゆみの広場看護主任)

保育士 野村 新一  
(前あゆみの広場看護師)

保育士 倉本 恵子(//保育士)

ひかりの大地  
看護主任 麻生 浩二  
(前のぞみの丘看護主任)

看護師 児玉 清美  
(前あゆみの広場看護師)

保育士 渡辺 春美  
(前のぞみの丘保育士)

生活福祉課  
個別支援計画担当 松山 修一  
(前地域連携室児童指導員)

地域連携室  
児童指導員 丸山 久幸  
(前生活福祉課児童指導員)

▼再任(役職任命二〇二〇年四月一日付)  
看護師長 釘宮 千鶴  
看護課主任 麻生 浩二・工藤 佳絵・  
藤木 弘美

訓練課主任 柴田水澄子  
生活福祉課主任 廣田由美子  
継続採用(二〇二〇年四月一日付)  
▼総務課長 藤井 智恵

▼嘱託(二〇二〇年四月一日付)  
看護師 野村 新一・後藤真由美  
医療事務 工藤 文恵  
用務員 松下 収子

▼退職  
理学療法士 山口真子(二〇二〇年三月十九日付)  
二〇二〇年 三月三十一日付  
看護師 平野 晃広  
介護福祉士 成安 誠  
二〇二〇年 四月十四日付  
臨床心理士 木戸 志緒(旧姓 原)

## ◇各ご連絡・ご相談先

発達外来(初診受付) …0974-32-7778	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
相談支援事業所ころ…0974-32-7788	訪問看護あんな・地域連携室…0974-32-7667
外来保育きっず……………0974-32-7778	恵の聖母の家(代表) ……………0974-32-7770



## 恵アカデミー について

看護部主任 麻生 浩二

恵アカデミーという言葉を知り、アカデミー賞を思  
い出される方もいると思います。アカデミー賞は、アメ  
リカ映画の健全な発展を目的に、その労と成果をたたえ  
るための映画賞です。それにちなんで、恵の聖母の家の  
中でも、それぞれの部署や個人の取り組みや成果などを  
共有できるように、恵アカデミーの開催を考えました。そ  
う考えた背景には、恵の聖母の家は、利用者さんや職員  
にとって家族的な組織であるという私の思いがありま  
す。しかし、時代と共に、必然的に組織が複雑になり、  
それぞれの部署のことが見えにくくなってきました。  
いろんなところで工夫や努力をしてくれている人たちが  
いるおかげで、私たちは当たり前のようにサービスが  
提供できています。

そのような「縁の下の力持ち」の存在を知ってもらい、  
そのおかげでサービスの提供ができていくということに  
気づき、感謝したいという気持ちが発  
端でした。

私自身も病棟紹介やミスト浴の紹  
介などをさせて頂きました。そして、  
発表された方からは、「発表できてよ  
かった。」「一つになれた気がした。」「  
という言葉、また、参加された方から  
は、「初めてそんな業務をしているこ  
とを知りました。感謝です。」という  
言葉を頂きました。

今年で終了しましたが、恵アカデ  
ミーをして良かったなと思います。恵  
アカデミーに協力して頂いた施設と職  
員の皆様に感謝いたします。



# 行事予定

※青色…外出活動 ◎…ケースカンファレンス ㊦…個別面談  
㊧…権利擁護・虐待防止部会 ㊨…全体朝礼 ㊩…労働安全衛生委員会  
㊪…リスクマネジメント部会 ㊫…入浴日

2020年5月			6月			7月			8月		
1	金	㊫	1	月	㊫	1	水		1	土	
2	土		2	火	㊧ 誕生会	2	木	㊧	2	日	
3	日		3	水		3	金	㊫	3	月	㊫
4	月	㊫	4	木	㊧	4	土		4	火	㊧ 誕生会
5	火		5	金	㊫	5	日		5	水	
6	水		6	土		6	月	㊫	6	木	㊧
7	木	㊧ 外出活動	7	日		7	火	㊧ 誕生会	7	金	㊫
8	金	㊫	8	月	㊫	8	水	外出活動	8	土	
9	土		9	火	㊩ ㊪	9	木		9	日	
10	日	ルルド祭	10	水		10	金	㊫	10	月	
11	月	㊫	11	木		11	土		11	火	㊪ ㊫
12	火	㊧ ㊪ 誕生会	12	金	㊫	12	日		12	水	
13	水	外出活動	13	土		13	月	㊫	13	木	
14	木		14	日		14	火	㊩ ㊪	14	金	㊫
15	金	㊫	15	月	㊫	15	水		15	土	聖母被昇天ミサ
16	土		16	火	㊩	16	木	㊪	16	日	
17	日		17	水	外出活動	17	金	㊫	17	月	㊫
18	月	㊫	18	木	㊪	18	土		18	火	㊩
19	火	㊩	19	金	㊫	19	日		19	水	
20	水	外出活動	20	土	ふれあい運動会	20	月	㊫	20	木	㊪
21	木	㊪	21	日		21	火	㊩	21	金	㊫
22	金	㊫	22	月	㊫	22	水		22	土	
23	土		23	火	㊩	23	木		23	日	
24	日		24	水	外出活動	24	金	㊫	24	月	㊫
25	月	㊫	25	木		25	土		25	火	㊩ ㊦
26	火	㊩ ㊦	26	金	㊫	26	日		26	水	
27	水	外出活動	27	土		27	月	㊫	27	木	
28	木		28	日		28	火	㊩ ㊦	28	金	㊫
29	金	㊫	29	月	㊫	29	水		29	土	
30	土		30	火	㊩ ㊦	30	木		30	日	
31	日					31	金	㊫	31	月	㊫

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

## 編集後記

2020年度から広報誌ルルドの丘の担当になりました。よろしくお願ひします。今年は新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発令され、外出や3密を避け、STAYHOMEということで、施設でもさまざまな対策を取っています。施設を利用している皆様も、非常にご苦労されているのではないのでしょうか。この緊急事態の中、原稿を依頼し投稿いただいたことに、只々感謝かんしゃです。皆様に広報誌を通して、施設の様子をご紹介していきたいと思ひます。(M・H)